

令和2年度事業方針

2020年は、当初計画では、東京オリンピック・パラリンピック開催を契機としたインバウンド需要を取り込むため、九州観光推進機構や長崎県、西九州させぼ広域都市圏などの関係団体と連携した観光PR・誘致活動の重点強化や、観光消費の拡大につなげていくための周遊・滞在型観光の促進などを図ることとしていた。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響で観光面でも大きな打撃を受けていることから、感染拡大・収束の状況を見極めつつ、需要回復に向けた適切かつ柔軟な対応を図る必要がある。

具体的には、国内向けには、まずは県境を越えずに観光客を取り込めるよう、県内での集客対策を講じるほか、福岡を中心とした九州地区、首都圏・関西圏に対し、国の官民を挙げた経済活動回復支援としての観光需要喚起策（Go To キャンペーンなど）と連動した誘客対策に取り組んでいく。

また、インバウンドに関しては、日本政府観光局（JNTO）において訪日旅行者の回復を図るための大規模プロモーションが計画されていることから、将来のインバウンド誘客につなげるため、観光コンテンツの収集、磨き上げ、受入環境の整備などに取り組む。

さらに、国内外に向けあらゆる機会を通じ、本市観光情報の積極的な発信に努める。

【重点事業】

1 周遊・滞在型観光の促進

佐世保市を主たる滞在エリアとし、西九州させぼ広域都市圏など周辺自治体とも連携しながら、観光客の周遊・滞在を促進することで、観光消費の拡大を目指す。

- ・観光地域としてのブランディング、情報発信の強化
（訪れたくなる観光地域のイメージ、情報の整理）
- ・各エリアの観光地域・コンテンツの磨き上げ、受入体制の強化
- ・ハウステンボス、佐世保駅を2核とした二次交通の充実
- ・地域ならではの滞在プログラム、着地型旅行商品の強化
- ・宿泊促進のための「夜と朝の佐世保観光」の魅力向上

※ 事業推進にあたっては、観光関連事業者はもとより多様な関係者との連携が必要不可欠であることから、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら柔軟に対応していく。

2 データ分析に基づいた観光マーケティング

観光客の誘致やプロモーション、受入体制の整備などの施策を検討・実施する上で、各種データを活用した観光マーケティングを強化することで、佐世保観光の強み・弱みを、精度を上げて分析し具体的な戦略の策定を行う。

- ・モバイルを活用した移動統計やSNS分析などのビッグデータを活用した観光戦略
- ・満足度調査、GAP調査による観光素材の磨き上げやコンテンツ開発、PR
- ・市場調査（特に海外）による効果的な誘致・プロモーション

※ 事業の成果向上に加え、観光を取り巻く環境変化にタイムリーに対応していくためにも、自社の調査のみならず、外部の各種調査データなども活用しながら、効果的な施策について検討を深めていく。

3 インバウンドの強化

人口減少の影響などにより、国内の旅行需要は今後ますます減少していくことが予測される中、活況を呈するインバウンドの積極的な取り込みは必要不可欠である。

特に、情報入手手段の発達や格安航空会社（LCC）を中心とした航空路線の拡大などにより、旅行手配を自ら行う個人旅行（FIT）が急増していることから、その受入整備、プロモーション対策は急務である。

具体的事業については上記1、2に含まれる。

- ・ターゲット国・地域

重点 東アジア（香港、台湾、中国）

※中国のFIT対策は上海地区。インセンティブ、パッケージツアー、教育旅行などの団体対策は、地域を問わず取り組む。

準重点 東南アジア

令和2年度事業別予算一覧

〈補助・委託事業〉

(単位：千円)

	事業名	R2年度予算 a	R1年度予算 b	増減(a-b)	担当課
1	観光地域づくりプラットフォーム構築事業	43,796	42,406	1,390	マーケティング グチーム
2	観光地域ブランド確立事業	44,045	44,711	△666	
3	プロモーション事業	8,897	9,396	△499	プロモーション ンチーム
4	印刷物事業	6,946	6,810	136	
5	九十九島誘客事業補助	10,000	10,000	0	
6	世界遺産プロモーション業務	3,373	4,344	△971	
7	世界で最も美しい湾 九十九島 PR	6,500	6,724	△224	
8	日本遺産 PR 事業	5,500	5,500	0	
9	国内観光誘致事業	4,515	4,950	△435	
10	コンベンション誘致事業	1,775	1,800	△25	
11	コンベンション開催助成事業	1,850	6,100	△4250	
12	修学旅行誘致事業	1,540	2,150	△610	
13	修学旅行誘致新規施策事業	128	1,134	△1,006	
14	修学旅行コロナ対策誘致助成事業	3,000	0	3,000	
15	国際観光誘致事業	7,642	12,792	△5,150	
16	訪日外国人誘致事業	5,900	1,400	4,500	
17	クルーズ船受入対策事業	22,945	15,160	7,785	チーム横断
18	着地型観光ニーズ創出事業	1,050	1,425	△375	案内販売チーム
19	広域連携事業マーケティング対策	19,606	28,150	△8,544	マーケティング チーム
20	広域連携事業インバウンド対策	17,366	8,850	8,516	プロモーション チーム
21	運営補助	36,860	34,930	1,930	
	計	253,234	248,732	4,502	

〈自主事業〉

(単位：千円)

	事業名	R2年度予算 a	R1年度予算 b	増減(a-b)	担当課
17	旅行事業	59,200	41,360	17,840	案内販売チー ム
18	観光バス事業	14,175	20,223	△6,048	
19	チケット販売事業	36,850	82,000	△45,150	
20	物販事業	7,100	2,500	4,600	
21	駐車場賃貸事業	14,000	13,800	200	総務チーム
22	賛助会員事業	5,300	5,300	0	
23	観光交流センター賃貸事業	20,825	20,245	580	
	計	157,450	185,428	△27,978	